

旬の本棚・平成30年4月号

受賞作品

第52回吉川英治文学賞

『守教』(上・下) 帚木蓬生 // 著 (F ハハ 1・2)

百姓たちは、苦しい日々を生き抜くためにキリシタンになった。しかし、弾圧は激しさを増し、密告の恐怖、残虐な処刑。九州のその村には、おびえながらも江戸時代が終わるまで決して逃げなかった者たちがいた。そして信じ続けた者たちがいた…。慟哭の隠れキリシタン秘史。

第39回吉川英治文学新人賞

『Ank:a mirroring ape』 佐藤究 // 著 (F サト)

2026年、多数の死者を出した京都暴動。感染症でもテロでもない。発端となったのは一頭の類人猿。東アフリカからきた「アंक(鏡)」という名のチンパンジーだった…。人類初の災厄に、霊長類研究者が立ち向かう!

第23回日本絵本賞大賞

『わくせいキャベジ動物図鑑』 tupera tupera // 著 (E5 ツ)

銀河のかたすみにある、わくせいキャベジ。黄緑色に輝く星には、ふしぎな生き物たちがすんでいます。冷たくイボのあるキュワニ、でこぼこした網目模様のラットセイなど、そこにすむ生き物たちの姿やその生態を紹介します。

第23回日本絵本賞

『ばけバケツ』 軽部 武宏 // 作 (E9 カ)

バケツがころんで、みずたまりができた。そこへ、ヤマネコやフクロウ、いしころ、ゾウ、オオカミなどが、つぎつぎとあらわれて…。妖しく美しい月夜の不思議な出来事を描いたおばけ絵本。

『ドームがたり』 アーサー・ビナード // 作 スズキ コージ // 画 (E2 ス)

「どうも、はじめまして。ぼくの名前は「ドーム」。あいにく来てくれて、ありがとう」—1915年にできた「広島物産陳列館」は、100年以上も広島を、世界を見てきた。ドームとは何なのか、何を語りかけているのか。原爆ドームの声をきけ! 未来へ記憶をつなぐ一冊。

第23回日本絵本賞翻訳絵本賞

『シャクルトンの大漂流』 ウィリアム・グリル // 作 (297 グ)

17か月にもおよぶ極限の旅、救命ボートで嵐の海を千数百キロ、極地の山岳地帯を36時間で踏破…。南極大陸横断の探検へと乗りだした、シャクルトンと勇敢な隊員たちの冒険を描く。

第23回日本絵本賞読者賞

『しんごうきピコリ』 ザ・キャビンカンパニー // 作 (E5 ザ)

信号機があおのときは「すすめ」、きいろのときは「とまれ」。パトカーが教えていると、突然ピコリ! 信号機が不思議な色に変わりました。車はどうするのでしょうか。ちょっとおかしい信号機のお話。

ドラマ化作品

正義のセ 出演: 吉高由里子 ほか

『正義のセ』 阿川佐和子 // 著 (F アガ)

子供の頃から正義感が強かった凜々子は、念願の検事になり意欲に燃えるものの苦戦の連続。周囲に支えられながらひとつずつ難関に挑むが、ついにある大失態をおかして…。

あなたには帰る家がある 出演: 中谷美紀、玉木宏 ほか

『あなたには帰る家がある』 山本文緒 // 著 (F ヤマ)

幼い子供を抱える真弓と秀明。家の建て替えを考えている茄子田と綾子。二組の夫婦の危うい絡みあいの中に、人間の愚かさや愛しさを写す長編小説。愛に迷っているあなたに贈る。

ブラックペアン 出演: 二宮和也 ほか

『ブラックペアン1988』 海堂尊 // 著 (F カイ)

外科研修医・世良が飛び込んだのは、君臨する“神の手”教授に新兵器導入の講師、技術偏重の医局員ら、策謀渦巻く大学病院。大出血の手術現場で世良が見た医師たちの凄絶で高貴な覚悟。驚愕手術の結末とは!

未解決の女 警視庁文書捜査官 出演: 波瑠、鈴木京香 ほか

『警視庁文書捜査官』 麻見和史 // 著 (F アサ)

警視庁捜査第一課文書解読班-文章心理学を学び、文書の内容から記述者の生まれや性格などを推理する技術が認められて抜擢された鳴海理沙警部補が、右手首が切断された不可解な殺人事件に挑む。

映画化作品

娼年 出演: 松坂桃李 ほか

『娼年』 石田衣良 // 著 (F イシ)

高級デートクラブで男娼として働き始めた20歳の大学生リョウ。夜ごと彼を求める女たちの美しさと妖しさ、それぞれの秘密。そして一線を越えた時に見えてきたものとは?